

どうする「鮫」の不法投棄

「とりあえず解決して良定場所に、収集日前から生かした(近隣住民)と思われた南市岡一、二丁目境界のJRガード下の不法投棄問題が依然続いています。夜間に捨てる同ガード下の二丁目側路上で今春から続いていた粗大ゴミなどの不法投棄は、港警察署(地域課)・大阪市建設局(市岡工務所)・大阪市西部環境事業センター(大正区)の連携で速やかに解決されました(前号既報)が、その後、今度は二丁目側路上のゴミ集積指



収集日(6月29日)の前日朝に見られたゴミの不法投棄の様子。南市岡1、2丁目境界のJRガード下で

目側の不法投棄問題を港警察署に通報するなど、町会として解決へ動いてきた西川美保さん(南市岡二丁目中町会副会長)は、「警察などの役所が連携して素早く解決してもらいました。その後、近くのマンションが、その後も、近くのマンションに手書きの警告ポスターを貼ったりカラーコーンを設置したり、懸命に対処されている。同様の問題は区内の他の場所でも見られる。ゴミは指定日の朝に指定場所へ置くという当たり前の行動を守ってほしい」と話していました。

ンに大型ゴミボックスが設置されるなど一定の改善はあったものの、結局は「鮫」になり、残念です。根本はモラルの問題ですが、引き続き警察署や工務所、環境事業センターと連携してパトロールや調査・指導を続けていく。地元もゴミ集積場所の警備を強化する。町会間での話し合いや連携も必要な段階に来ているように思いますが」と話していました。

緑花コンで港区W賞

クロスG同好会と中根さん



第20回ひとり・ふたり・みどり緑花コンクールで受賞した港区の皆さん(前列中央は市長賞に輝いたクロスガーデン同好会の岩間ゆりか代表、同右端はほのぼの賞を受賞した中根昭さん) = 6月16日、大阪市公館で

「第二十回ひとり・ふたり・みどり緑花コンクール」の高さを示しました。このコンクールは市民の緑化意識を高め、花と緑の美化意識を推進することを目指し、年間を通じて緑化活動の姿勢や美しさや工夫を競うもの。昨年十月、(個人部)に中根昭さん(六九(八幡屋)の「思つがまま自然に」が選ばれました。*エゴにも配慮して



市長賞に輝いたクロスガーデン同好会の作品「エゴガーデン」



ほのぼの賞に輝いた中根昭さんの作品「思つがまま自然に」

今年二月に募集が行なわれ、個人十、団体十七が応募。審査の結果、八賞のうち「市長賞」(団体の部・民有地)にクロスガーデン同好会(弁天)の「エゴガーデン」が、「ほのぼの賞」(個人の部)に中根昭さん(六九(八幡屋)の「思つがまま自然に」が選ばれました。*エゴにも配慮して六月十六日に大阪市公館で表彰式が行われました。この中で、同会に対しては「高層マンションの十数人が『ハッピーアスクリープロジェクト』を理念に、楽しみながら、居住空間を少しでも快適にと玄關花壇をデザイン。育苗に卵ケースを再利用するなどエゴにも配慮。ゴミを捨てる人が減るなど地域への波及効果

地域短信

絆会が介護施設慰問 港区のボランティア慰問グループ「絆会」(森上行代表)が六月二十六日、西区の介護老人保健施設「えきさい大阪」を訪れた。同会は〇七年結成。老人施設などへ慰問を続け、今回で二十一回目。この日は高比良よしみさんによる「大阪ラプソディ」独唱を皮切りに、歌や踊りや手品など多彩な出し物を次々と披露した。このうち瀬川たかしの腹話術「写真右」は腹話術界の大御所・川上のぼるさん直伝の本格芸。生意気な人形「きんちゃん」との掛け合いが連続爆笑を誘った。また永田勝枝さんの独唱「岸壁の母」も写真左



熱い心情が伝わり、目を押しさえる女性が何人も見られた。一時間に亘る慰問を終えた会員らは「入居者の笑顔から私達が元気を貰った」と介護は誰かが通る道。これから慰問を続けたいと話していた。会員の多くは大病など人生の危機を乗り越えてきた。その経験を生かしたいとの思いが活動の原動力になっている。

みなとタイムスリップ

回塊つれづれ草

交通科学博物館 課長 細川 武志

今回は子供時分の話です。昭和三十年代の子供に

七月になると港区区内では、あちこちで夏祭りが行われます。私たちが住んでいた市岡地域の祭りは三社太鼓の響きがブローグです。三社神社の夏祭りは毎年七月の二十日、二十一日です。二十日はちよとど学校の一学期の終業式で「明日からは夏休みや」という開放感もあり、毎年心待ちにしたものです。私のおぼろげな記憶では、三社神社は現在の位置よりも、もっと北側にあつたように思っています。祭りや初詣には神社に大勢の人が訪れ、いろんな屋台や露店が軒を並べて競って



戦後の三社神社(昭和30年夏) 三社神社誌から

三社太鼓は子供の夏のプロローグだった

はまだまだ貧しい時代に、そんな特典は最高でした。夜店を堪能したら家の前では夕涼みや花火を楽しむ、祭りのエンディングを迎えます。三社神社の祭りが終わる頃には気温がぐんぐん上昇し、やがて「天神祭」が幕を開けると大阪は夏本番です。(つづく)

住まいの防犯レベルを高めよう

- ① ワンドア・ツーロックは常識
- ② ピッキングに強いカギに交換
- ③ 窓にも補助錠の取り付けを

PHS 携帯OK ☎0120-70-5569

(ア) 港カギ防犯センター

安心・安全をご提供します

港区港晴1-4-8 (港晴小学校並び)

☆大阪府警前技術者防犯協力会会員 ☆港防犯協会会員 ☆防犯設備士第00-6738号

勉強会・打ち上げ・会食・お泊まり等々

あらゆる集まりは地元の経営開発研修センターで

会議室5(72名、45名、16名、24名、10名) 個室50(各室バス・WC・TV付) 一泊朝食付5,000円

歓迎迎会・各種宴会 ご予約承り中!

屋敷レストランも大好評!

三井住友銀行・みなと通り 港南中学 河村病院 至大阪港

至境川 U.F.J銀

三先1丁目6-3(港南中学校向かい) ☎6574-5701

http://www.keieikaihatu.co.jp mail:kenshu@keieikaihatu.co.jp

次世代に戦争体験を伝えよう!

400字(原稿用紙1枚)で千円が標準料金です。

香川県から陸軍兵として南方を転戦、米軍爆撃や雨中の行軍、マラリアなどで何度も死線をさまよった。最後のラバウルでは入隊前の仕事を生かして豆腐を作りました。そんな体験を死ぬ前に次世代へ残しておこうと思立ち、冊子にしてみました。(八幡屋・90代男性)

お話をききとり、冊子にしてお渡しします。

田中3-3-3 飯田編集事務所 ☎6571-4636